

II サブスペシャリティ領域

1 コース名

内分泌代謝科(内科) 専門医コース

2 プログラムの特徴

基本的には、糖尿病専門医コースも同時に選択することになります。内分泌学会臨床研修施設での研修を実施し、内分泌代謝疾患、合併症の評価および管理などの診療を中心に、基本的な診療技術、Problem Oriented System (POS)に従って病歴、身体所見、検査データからプロブレムを挙げ、系統立てて鑑別診断を進める能力、Evidence Based Medicine (EBM)を実践する能力を養い、最新・最良の内分泌疾患の診療を行える専門医の育成を目的とします。さらに症例報告や臨床研究の能力の養成も同時に目指し、医学博士号取得の基礎を提供するものです。なお、臨床系大学院の進学に関しては、いつからでも進学可能です。

3 到達目標

内分泌代謝疾患における基本的診察手技を習得し、病態でのホルモン動態と意義を理解し病態評価及び的確な鑑別診断から治療法の選択能力を修得し内分泌専門医の資格を取得します。

4 プログラムの概要

(1) 修得項目

【4年目】

- 1) 内分泌代謝専門外来における診療が行えます。
- 2) 患者教育の能力の一層の向上
- 3) チーム医療を理解し、新規に内分泌代謝チームを構築する能力を有します。
- 4) 医療チームにおいて後輩医師の指導が出来ること、ならびにチームの他のメンバーに対し医師の立場から適切な助言ができ、チームの臨床能力を高めます。
- 5) 臨床症状の疑問点に答える適切な臨床研究プロトコルを立案し実行できます。

【5年目】

- 1) 初期臨床研修医に対する指導をできるようになります。
- 2) 内分泌代謝を専門としない他科医師などのconsultationに応じることができるようになります。

【6年目】

- 1) 内分泌疾患の基礎的知識を有し、最新の研究成果についての的確な評価ができ、それを臨床応用することができるようになります。

(2) 指導体制(指導医数)

1人

5 受け入れ可能人数

6人

6 修了後の主な進路

大学での研究・診療
県内機関病院での診療
開業

関連研修施設

内分泌代謝科（内科）専門医

